

I 公一1 一般会計（森林・林業の啓発と緑化事業）

（第29年度）

平成24年4月1日から
平成25年3月31日まで

世界各地では、地球温暖化が主な原因とされる気象異変や災害が多発し、温暖化物質である二酸化炭素の吸収源として、森林への関心が世界的に高まっている中、気候変動に関する国際連合枠組条約の京都議定書に基づく温室効果ガス削減目標の最終年でありました。

森林に対する国民のニーズは、地球温暖化の防止、国土の保全、水源のかん養、木材の生産、生物多様性の保全、環境教育や心身の健康づくりの場としての利用など多様であり、こうしたニーズに的確に答え得る森林づくりや緑豊かな生活環境整備が求められています。

当基金は、「長野県ふるさとの森林づくり条例」の規定により長野県が定めた「森林づくり指針」に沿って、行政・NPO・地域住民と様々な形で協働し、多くの県民の参加を得ながら、森林の整備や身近な生活環境の緑化に関し理解が深まるよう、地域の実情やニーズにあった実践的活動に重点をおいた事業の展開を図りました。

1 情報誌等による広報、普及宣伝

森林・林業及び環境緑化に対する県民の更なる理解を深めるため、次の事業を実施した。

（1）情報誌の発行等

基金業務、森林・林業及び環境緑化等について、県民の理解を深め協力を得るため、緑化シーズンに合わせたグリーンキャンペーン、機関誌「緑の基金」の発行（2,000部）等を行った。

（2）緑の情報サービスの推進（ホームページによる情報発信）

県民参加による森林づくり、緑豊かな環境づくりを促進するため、森林・林業に係る各種行事、巨樹・古木を題材に刊行した絵本のPR、緑の募金の使途報告、基金の事業・決算など、ホームページを用いて情報発信した。

（3）巨樹・古木をテーマにした絵本作り

緑と水の森林ファンド事業（国土緑推）を活用し、子供たちの森林に対する理解の普及に資することを目的とする絵本（第5作目）作成のため、根羽村の「月瀬の大杉」の調査等を実施した。

2 県民の集い等の開催

（1）ふるさとの森づくり県民の集い

ア ふるさとの森づくり県民の集い（第63回長野県植樹祭）の共催

6月9日に野沢温泉村オリンピックスポーツパークにおいて、長野県、中部森林管理局、野沢温泉村等と共催し、「育てよう 未来へつなぐ 森づくり」をテーマに一般県民約1,

400人の参加のもとに第63回長野県植樹祭を開催した。

イ 地区緑化推進団体による森林の感謝祭などの開催

「緑と水の森林ファンド事業」を活用して、県下11地区において地区の実情に即し、森林の感謝祭、植・育樹など体験型の行事等を実施した。

(2) 森林教室の開催

森林・林業に関する知識を普及啓発するため、県植樹祭に併せ、野沢温泉村上ノ平高原において、長野県森林インストラクター会の協力を得て「春の森林教室」を開催した。参加者を公募したところ、東信、南信、中信、北信各地区より116名の参加があり、4台のバスを運行した。参加者には、植樹活動、自然観察会、山の手入れ方法・森の状況説明等の体験を通じ、好評のうちに森林・林業への理解を深めていただくことができた。

3 講演会の開催等

(1) 緑に親しむ集い

樹木観察や木や木の実を使った工作など様々なふれあい体験を通じ、森林や森林の恵みに親しむとともに関心を深めることができるよう、主に親子向けの森林教室を年間21回、長野県林業総合センター学習展示館と共催で実施し、254組507名の参加があった。

(2) 森林フォーラム

「森林を活かし森林に生かされる豊かな暮らし」の実現に向けて、多様な木材利用の創造や県産材の需要拡大の必要性について、タウンミーティング「知事と語る長野県の森林・林業の未来～多様な木材利用の創造～」を中心に長野県が森林県から林業県に飛躍していくための可能性を探る「森林フォーラム」を長野県、林業関係団体等と共催で実施した。

・ 平成25年2月17日(日) 塩尻市「総合文化センター」 参加者260名

(3) 野鳥愛護思想の啓発

児童・生徒の野鳥を愛し緑を育む心を養うため、野鳥観察、巣箱製作・架設など野鳥愛護の実践活動を行う小・中学校5校に対して、信州の緑と野鳥を守る会を通じて助成した。

4 森林づくり等実践参加の促進

(1) 林業関係等コンクールの開催

ア ふるさとの森林づくり賞及び林業関係ポスター等コンクールの開催

地域の森林づくりなど広く長野県の森林づくりの活動及び取組みにおいて貢献された者の表彰、並びに、ポスターや野鳥巣箱の制作を通じて、小・中学校、高等学校の児童・生徒の緑化思想及び野生鳥類の保護思想の高揚を図るための作品コンクールを長野県、林業関係団体とともに開催した。

- ・ ふるさとの森林づくり賞及び林業関係ポスター等コンクール(1月11日表彰)
長野県ふるさとの森林づくり賞 長野県緑の基金理事長賞 1名、3団体
林業関係ポスター等コンクール 長野県緑の基金理事長賞 23名

イ 木工工作コンクールの開催

小・中・盲・ろう・養護学校の児童生徒を対象に、身近な木材を生かして夢を描き、自由な発想で創作することにより、子供たちの豊かな成長、木に触れ、ものを作る喜びを知ってもらうために、木工工作コンクールを長野県木材青壮年団体連合会と共催で実施した。

- ・ 木工工作コンクール 長野県緑の基金理事長賞 1名(12月1日表彰)

(2) 教職員の指導者研修会等の開催

ア 森林環境教育指導者研修会

子どもたちが自然に親しみつつ森林の重要性などについて体験を通じて学ぶことができるよう、教育指導者である教職員(本年度は東信地域20人)を対象に、長野県の森林の現状、樹木検索法、木工作等森林環境教育に関する研修会を10月23日に上田市の市民の森で実施した。

イ 里山整備講習会の開催

里山を維持管理する人材の確保と活用の促進を図るため、森林所有者等が森林管理や間伐の基礎等森林整備に必要な知識、技術を習得できるよう、「里山整備入門講座」を県下10地区で長野県と共催で実施した。

- ・ 平成24年9月～24年12月(期間：4日間/地区) 受講者 122名

ウ 森づくり活動コーディネーター養成研修

森林づくりNPO団体等に所属し、団体の組織運営や企画などに携わっている者又は今後積極的に携わる意欲のある者を対象に、必要となる知識・技術、手法等の習得を図るとともに課題解決に向けた指導・助言を行う研修会を国土緑推からの委託を受けて開催した。

- ・ 平成25年2月1日～3日 長野市内 受講者 23名(中部ブロック9県)

(3) 学校林の整備

みどりの少年団等森林活動支援事業

児童・生徒が行う森林活動を普及推進するため、林業改良指導員がコーディネーターとなり、みどりの少年団等がNPOや地域の指導者等と連携して学校林整備などを行う活動に対し助成した。

- ・ 大沢みどりの少年団
- ・ 岡谷市立神明小学校他10校

5 都市緑化等の環境整備

(1) 公園等公共施設の緑化

(公社) ゴルフ緑化促進会の緑化協力金を受けて、協力ゴルフ場所在地を中心とした公共施設の緑化を実施した。

区 分	地 区	事業主体	実 施 場 所 ・ 樹 種
第 69・70回	佐 久	御代田町	御代田町世代間交流センター サツキ等(425本)

(2) 小中学校敷地内の緑化

国土緑化推進機構の助成を受け、学校環境の緑化を通じて青少年への森林環境教育を推進することを目的に、小学校敷地内の環境緑化整備(児童用玄関前の緑化等)を実施した。

- ・ 助成事業名 学校環境緑化モデル事業(「ローソン緑の募金」寄付金活用事業)
- ・ 実施校 岡谷市立岡谷小学校

6 その他

(1) 第67回全国植樹祭の開催申出

平成28年に開催される第67回全国植樹祭について、長野県知事との連名により、平成24年7月30日付けで公益社団法人国土緑化推進機構会長に申し出て、同年8月29日の公益社団法人国土緑化推進機構理事会において、長野県での開催が内定した。

(2) 国土緑化運動・育樹運動標語の募集

県内の小・中・高生より応募のあった作品116点の中から10点を推薦し、中央審査の結果、平成25年用育樹運動標語で本県からの作品が特選に選ばれた。

平成25年用標語に選ばれた特選作品

- ・ 国土緑化運動標語 「今植えた 木々が未来へ 夢運ぶ」 (小6 山形県)
- ・ 育樹運動標語 「そだてよう 緑の大地 みんなの未来」
(長野俊英高校3年 中山 淳 さん)

(3) 森の名手・名人の選定

国土緑化推進機構が選定する平成24年度「森の名手・名人」に長野県からは4名が選ばれ、県内の名手・名人は43名となった。

氏 名	年 齢	市 町 村	部 門	内 容
相川 晴光	84	筑北村	加 工	炭焼き
伊藤今朝雄	56	上松町	加 工	木桶製造業

原 康則	70	南木曾町	加 工	水車製造業
林下 一男	76	木曾町	森林づくり	農林業

7 基本財産の運用益

EUの財政問題など世界的に不安定な経済状況下にあって、円高、超低金利が続き、経済や景気の先行きが不透明な中、基本財産の運用益について、当初予算では基本財産の受取利息収入を5,023千円と見積りをしたが、決算額は5,709千円となった。

8 出捐金の内訳

平成24年度末 5億8,880万5,987円
(前年度よりの増加額 13万8,705円)

<内訳>

- ・ 長野県 150,000,000円 (25.5%)
- ・ 市町村 123,000,000円 (20.9%)
- ・ 民間 315,805,987円 (53.6%)

Ⅱ 公一２ 特別会計（緑の募金事業）

「長野県ふるさとの森林づくり条例」の基本理念である「県民の理解と主体的な参加」を念頭に、「緑の募金」運動を積極的に展開し、森林づくりと緑づくりの大切さの普及啓発に努めました。

また、4月1日から5月31日までの「緑化推進特別強調月間」を中心に、5月4日緑の日には長野駅前等での街頭募金や広報活動を行うなど緑を守り育てる緑化意識の高揚に努めるとともに緑の募金活動を積極的に展開しました。

県民各位からの緑の募金への寄附金は、円高等厳しい経済状況など募金推進の環境の大変厳しい状況が続く中、各地区緑化推進団体や市町村をはじめ多くの関係者の絶大なる御協力と県民各位の御理解をいただきましたが、募金総額8,237万円余（対前年比97.9%）と前年をやや下回る結果となりました。

（詳細は別紙1、2のとおり）

「地区事業」を通じて、地区緑化推進団体が各地区の実情に応じながら主体性を持って実施しました。

「緑の募金による公募事業」を通じて森林づくりや身近なみどりづくり、県産材の利活用、森林環境教育などに係る地域における自発的な活動を支援しました。

次代を担うみどりの少年団が行う森林・環境緑化等に関する学習実践活動に対して長野県みどりの少年団連盟を通じて支援しました。

長野県北部地震により甚大な被害を受けた下水内郡栄村において、昨年度に引き続き、被災された村民を支援するため、復興祈念植樹を行いました。

1 緑の募金活動

（1）緑化推進の啓発宣伝

ア 広告、CM等キャンペーン

緑化思想の普及啓発のため、新聞各社への緑化広告の掲載、テレビ等によるPRを「緑化推進特別強調月間」（4月1日～5月31日）中に、「ひろげよう 大地うるおす 植樹の輪」を国土緑化運動標語にして行った。

- ・ 新聞広告掲載 4月1日他 6社掲載（信濃毎日新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、中日新聞、産経新聞）
- ・ テレビCM 長野放送 28回放送（4/1～4/7・4/29～5/4）
- ・ 街頭募金 5月4日（みどりの日）
- ・ 着胸キャンペーン 緑の羽根、ピンバッジ着胸を促進した。

イ 緑の相談

県民の緑の保全、緑化木等への理解と関心が深まるよう、身近な緑化樹木の衰弱や病害虫等樹木に関する相談に対して迅速に対応する相談窓口業務を日本樹木医学会県支部、県造園建設業協会に委託して実施した。

- ・ 相談件数 16件

(2) 募金資材の購入

募金活動の効率的な展開を図るため、緑の羽根、家庭募金用封筒等の募金資材の購入や募金PRのためのチラシの作成等を行った。

(3) 募金活動の推進

4月1日から5月31日までの「緑化推進特別強調月間」を中心に、家庭募金、職場募金等を行った。特に5月4日のみどりの日には、須坂園芸高校など北信地区の3高校生徒等の協力を得て、JR長野駅前などで街頭募金を行った。

また、平成25年募金活動の円滑な推進・適正化を図るため、地区緑化推進団体との合同会議を12月19日長野市内において開催し、次年度の活動展開方針等について協議した。

2 公募事業の実施

特定非営利活動法人など募集要件を満たす団体が自発的に地域や社会ニーズに基づいた環境緑化、森林の整備、木材の利活用及び野生動物との共生など公益的な活動を展開することを促進するため、「緑の募金」を活用した公募事業を募集したところ、17団体から17件の応募があった。

運営協議会等で審査を行った結果、1事業につき20万円を限度に17団体に総額3,350千円を助成した。(詳細は、別紙3のとおり)

3 緑化の推進等

(1) 森林の整備

森林整備に対する県民の意識の向上と理解を深めるため、森林整備に要する苗木・作業用具の購入、指導者の謝金、傷害保険等の経費に対して交付金を交付し、下刈、枝打ち、除間伐など実施した。

- ・ 実施箇所 38箇所、整備面積 92ha

特に、長野県北部地震により甚大な被害を受けた下水内郡栄村において、被災された村民に元気と希望を取り戻していただくことを願い復興を祈念して植樹を行った。

- ・ 実施場所 北野天満温泉敷地内 オオヤマザクラ 12本

(2) 森林整備講演会・研修会等の開催

森林づくりの重要性、地球温暖化防止に係わる森林の役割等を周知するために各

地区で行われた講演会・研修会の開催に要する会場使用料、資料代、資材購入、講師謝金、傷害保険等の経費及び山火事防止の広報活動、松くい虫被害対策活動等に交付金を交付した。

- ・ 実施箇所 12箇所、 参加人員 1,280人

(3) 公園等公共施設の緑化

ア 学校緑化

学校校内環境の緑化、学校林の整備等のため、苗木や作業用具購入、指導者謝金等の経費に交付金を交付した。

- ・ 実施校 54校 苗木本数 693本（ドウダンツツジ、アンズ他）
下刈、除伐等 1ha

イ 公園等公共施設の緑化

公園、公民館、福祉施設等の公共施設の環境緑化を図るための苗木購入、作業用具購入、指導者謝金等の経費に交付金を交付した。

- ・ 実施箇所 309箇所、 苗木本数 15,508本（ミツバツツジ、モミ、イチイ、ヤマザクラ、ドウダンツツジ他）

(4) 苗木の配布

生活環境の緑化や緑に対する関心を高めるため、県下各地で開催される緑化木頒布会等の苗木等購入経費に交付金を交付した。

- 実施箇所 211箇所、 配布本数 47,330本（ドウダンツツジ、クリ、レンゲツツジ、サツキ、ヤマザクラ、ナツツバキ、アメリカハナミズキ他）

(5) 植樹・育樹祭等行事

森林づくりに対する意識や緑を守り育てる緑化意識の高揚に努め、積極的に緑づくりへの参加を促進するため、地区緑化推進団体や、市町村等で行う植樹・育樹祭等行事の開催に必要な経費に交付金を交付した。

- ・ 実施箇所 39箇所、 植樹本数 22,198本（カラムツ、サワラ、ヒノキ、スギ、ブナ、ミズナラ、コナラ、スギ、レンゲツツジ、シラカバ他）
育樹面積 11ha

(6) コンクール・講演・研修会等の開催

森林・林業のPR及び緑化思想の普及啓発を図るための各種コンクール及び緑化功
労者の表彰式等が県下18会場で開催され、それに係わる経費に交付金を交付した。

4 みどりの少年団の育成

次代を担う少年たちが、自然とのふれあいを通じて緑を愛し育てる心を養い、人間性
豊かな健康で明るい子供達に育むため、県下177のみどりの少年団が実施した森林・
環境緑化等の学習実践活動に対し、長野県みどりの少年団連盟を通じて助成するととも
に地区事業として実施した少年団の実践活動に対して交付金を交付した。

また、少年団活動の一層の活性化を図るため、県下の少年団の代表の参加のもと長野
県みどりの少年団交流集会を長野県みどりの少年団連盟と共催実施した。

- ・ 長野県みどりの少年団交流集会(長野市青少年錬成センター)
8月9～10日 参加者 18団 90名(引率者含)